

グロウイング・エンジェル

追加型投信/国内/株式 ※課税上は、株式投資信託として取扱われます。

月次報告書

基準日:2019年7月31日

設定・運用:ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

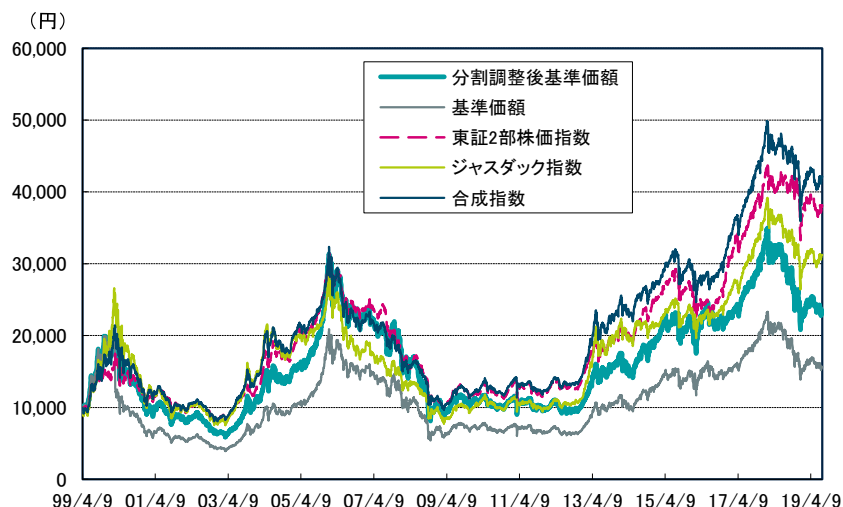
【ファンド基礎データ】

基準価額	15,642円	純資産総額	2,010百万円
設定日	1999年4月9日	決算日	(原則)毎年3月10日
信託期間	無期限	当初設定元本	18,244百万円

【基準価額(分割調整後)と合成指数、東証2部株価指数、ジャスダック指数の騰落率】

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
ファンド	0.07%	-7.64%	0.57%	-22.43%	1.83%	33.38%	134.63%
合成指数	2.36%	-2.07%	3.02%	-8.39%	49.43%	63.90%	321.57%
東証2部株価指数	2.11%	-2.71%	0.72%	-8.68%	57.88%	72.75%	282.37%
ジャスダック指数	2.60%	-1.56%	4.38%	-9.57%	34.94%	43.27%	212.44%

【基準価額と合成指数、東証2部株価指数、ジャスダック指数の推移】



当ファンドは、東証2部株価指数およびジャスダック指数並びに合成指数をベンチマークとするものではありません。したがって、同指数に対して一定の投資成果を挙げることを目標としておりません。ファンドの運用実績は、同指数とは異なるものと予想します。
(受益者の皆様に中小型株市場全体の動きをより広範にお伝えするため、2007年6月より割戻株の比率が高い東証2部株価指数に加え、ジャスダック指数およびこれらの合成指数を追加することで、中小型株が持つ成長性の要素を反映させていただきました。)

※ 合成指数=東証2部株価指数(配当込み)×50%+ジャスダック指数×50%
 ※ 合成指数、東証2部株価指数、ジャスダック指数は、設定日(1999年4月9日)を10,000として指数化しています。
 ※ 基準価額の推移は、信託報酬控除後の価額を指数化して表示しています。
 ※ 当ファンドは、設定来、分配金をお出ししておりません。
 ※ 当ファンドは、2000年3月1日に1:1.5の分割を行いました。分割調整後基準価額は、分割を行わなかったものと仮定した場合の理論価額です。
 ※ 当資料の表やグラフの実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいようお願い申し上げます。
 当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社で作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

グロイーグ・エンジェル

追加型投信/国内/株式

月次報告書

基準日:2019年7月31日

設定・運用:ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

【上位10銘柄】		2019年6月28日現在		
	銘柄名称	銘柄コード	業種	組入比率
1	日油	4403	化学	5.1%
2	シップヘルスケアホールディングス	3360	卸売業	3.2%
3	アトラエ	6194	サービス業	2.8%
4	エスペック	6859	電気機器	2.8%
5	カチタス	8919	不動産業	2.6%
6	ペプチドリーム	4587	医薬品	2.4%
7	日鉄ソリューションズ	2327	情報・通信業	2.3%
8	アルゴグラフィックス	7595	情報・通信業	2.2%
9	東映アニメーション	4816	情報・通信業	2.2%
10	じげん	3679	情報・通信業	2.2%
上位10銘柄の合計				27.8%

※ 比率は対純資産総額比です。

※ 上位10銘柄については、開示基準日がその他の情報と異なります。

銘柄数: 66

【資産構成比】	
株式	98.5%
C B	0.0%
ワラント	0.0%
現金等	1.5%

※ 比率は対純資産総額比です。

【上位5業種】		
1	情報・通信業	22.1%
2	サービス業	17.6%
3	電気機器	11.2%
4	化学	11.2%
5	不動産業	5.8%

※ 比率は対株式評価総額比です。

【市場別組入比率】		
市場	銘柄数	組入比率
一部市場	52	80.7%
二部市場	3	3.2%
ジャスダック	2	2.5%
マザーズ	10	12.2%
その他	0	0.0%
総計	67	98.5%

※ 比率は対純資産総額比です。

※ 「一部」「二部」は、東証、名証の各一部・二部市場を表します。

※ 「その他」は、地方単独上場銘柄および上記以外の市場の銘柄を表します。

【直近5期の税引前分配金実績(1万口あたり)】

第16期 (2015年3月10日)	第17期 (2016年3月10日)	第18期 (2017年3月10日)	第19期 (2018年3月12日)	第20期 (2019年3月11日)
0円	0円	0円	0円	0円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。

当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

グロウイング・エンジェル

追加型投信/国内/株式

月次報告書

基準日:2019年7月31日

設定・運用:ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

〔市場概況〕

7月の国内株式市場は中小型株式市場も含め上昇しました。6月末の米中首脳会談で通商協議の再開と対中制裁関税第4弾の先送りが決まったことを好感し、国内株式市場は上昇して始まりました。パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長が早期利下げを示唆したことをきっかけに外国為替市場で円高ドル安傾向となり、国内株式市場は一時的に弱含む局面もありましたが、米中通商協議進展への期待や米国市場の株高を好感し短期間で反発しました。月末にかけては、日銀の金融政策決定会合や米連邦公開市場委員会(FOMC)の開催を控え、金融政策を見極めたいとの思惑から投資家の様子見姿勢が強まり、国内株式市場は一進一退の展開となりました。今月の市場別騰落率はTOPIXが+0.90%、ジャスダック指数が+2.60%、東証マザーズ指数が+1.17%となりました。

〔運用状況〕

7月の基準価額は0.07%上昇しました。通期業績が計画を下回るとの懸念が台頭したソフトウェア会社や、冴えない決算内容が嫌気されたオートメーションサービス関連会社の保有等はマイナスに影響しました。一方で、半導体関連株上昇の流れが後押しとなった電子部品メーカーや、好調な既存店売上高が好感された飲食店運営会社の保有等がプラスに寄与しました。

〔市場見通しと運用方針〕

今後の国内株式市場は中小型株式市場も含め底堅い展開を予想します。7月末から発表が本格化している企業の4-6月期決算は、外需系企業の不振を堅調な内需系企業が補い、全体ではやや下方修正優位ではあるものの、ほぼ想定内の業績となっています。米国による対中制裁関税第4弾発動など、米中通商協議や中東情勢の行方次第では波乱の展開も想定されますが、バリュエーションが割安で日銀による上場投資信託(ETF)の購入や過去最高水準で推移する企業の自社株買いなど需給面の下支えもある国内株式市場の下値余地は限定的と見ています。企業業績は4-6月期を底に緩やかながら回復基調へ転じる見通しで、国内株式市場は徐々に戻りを試す展開へ移行すると考えています。

運用にあたっては、独自のビジネスモデルを背景に中長期的な業績拡大が期待される銘柄、事業構造改革や生産性の改善などによって利益成長力が高まると考えられる銘柄などに注目し、選別を行っていく方針です。

※将来の市場環境の変動等により、上記運用方針が変更される場合があります。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

グロイング・エンジェル

追加型投信/国内/株式

月次報告書

設定・運用:ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

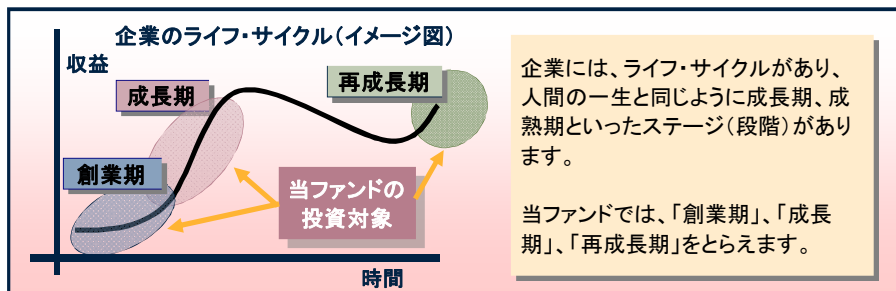
ファンドの目的・特色

当ファンドは、信託財産の積極的な成長を目指して運用を行います。

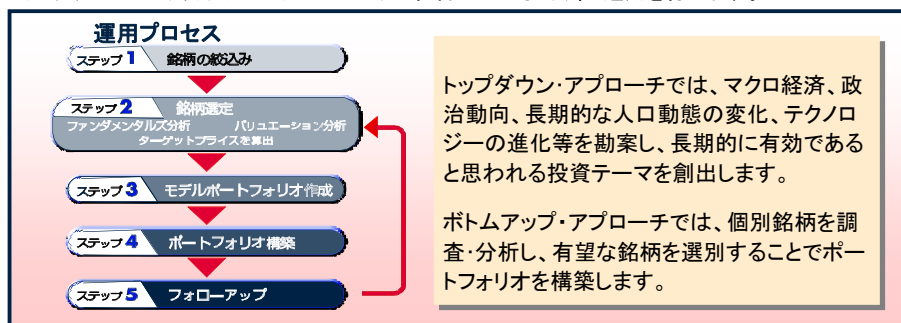
特色1 わが国の取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)している中型・小型株を主要投資対象とします。

特色2 主に創業期から離陸した企業、次なる飛躍を目指した企業に投資します。

特色3 企業の「創業期」、「成長期」及び「再成長期」をとらえます。



特色4 トップダウン・アプローチ及びボトムアップ・アプローチの組合せによるアクティブ運用を行います。



(注1) 上記運用プロセスにおいて、ドイツ銀行グループの資産運用部門(グローバル)またはその他の外部機関の投資環境調査等やモデルポートフォリオを参考にすることがあります。

(注2) 上記は本書作成時点のものであり、今後変更となることがあります。

(注) 市況動向及び資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様自身の責任においてなさいませうお願い申し上げます。

当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

投資リスク

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元金が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。当ファンドに生じた利益及び損失は、すべて投資者に帰属します。基準価額の変動要因は、以下に限定されません。なお、当ファンドは預貯金と異なります。

①株価変動リスク

株価は、政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

②信用リスク

株価は、発行者の信用状況等の悪化により下落することがあり、これによりファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

③流動性リスク

急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に有価証券等を売買できないことがあります。このような場合には、当該有価証券等の価格の下落により、ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。

その他の留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があり、その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

N-190527-1

グロウイング・エンジェル

追加型投信/国内/株式

月次報告書



設定・運用:ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社

お申込みメモ

- 購入価額 購入申込受付日の基準価額とします。
- 購入単位 1万口以上1万口単位とします。
- 購入/換金 原則として、販売会社の営業日の午後3時までに購入申込み/換金申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の受付分として取扱います。
- 信託期間 設定日(1999年4月9日)から無期限とします。
ただし、残存口数が20億口を下回ることとなった場合、受益者のために有利であると委託会社が認める場合またはやむを得ない事情が発生した場合には、信託を終了させていただくことがあります。
- 決算日 原則として毎年3月10日(休業日の場合は翌営業日)とします。
- 収益分配 年1回の毎決算時に、信託約款に定める収益分配方針に基づいて行います。
ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
(注)将来の分配金の支払い及びその金額について保証するものではありません。
- 換金価額 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額とします。
- 換金単位 1万口単位とします。
- 換金代金 原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目から販売会社においてお支払いします。
- 課税関係 課税上は株式投資信託として取扱われます。
原則として、配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。
原則として、分配時の普通分配金並びに換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して課税されます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。
(注)法人の場合は税制が異なります。税法が改正された場合等には、上記の内容が変更される場合があります。

※ 委託会社の照会先は、下記のとおりです。

ホームページアドレス: <https://funds.dws.com/jp/>

ファンドの費用

時期	項目	費用
<投資者が直接的に負担する費用>		
購入時	購入時手数料	購入申込受付日の基準価額に 3.24% *(税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額 * 消費税率が10%になった場合は、 3.3% となります。
換金(解約)時	信託財産留保額	換金申込受付日の基準価額に 0.5% を乗じて得た額
<投資者が信託財産で間接的に負担する費用>		
毎日	運用管理費用(信託報酬)	信託財産の純資産総額に年率 1.836% *(税抜1.7%)を乗じて得た額 * 消費税率が10%になった場合は、年率 1.87% となります。
その他の費用・手数料		当ファンドにおいて、信託事務の処理等に要する諸費用(ファンドの監査に係る監査法人への報酬、法律・税務顧問への報酬、目論見書・運用報告書等の作成・印刷等に係る費用等を含みます。以下同じ。)、組入資産の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、租税等がかかります。これらは原則として信託財産が負担します。ただし、これらの費用のうち信託事務の処理等に要する諸費用の信託財産での負担は、その純資産総額に対して年率 0.10% を上限とします。 ※「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するものであり、一部を除き事前に料率、上限額等を表示することができません。

※「税」とは、消費税及び地方消費税に相当する金額のことを指します。
※投資者の皆様が負担する費用の合計額については、ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

委託会社およびその他関係法人

- 販売会社 : 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号
加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(当ファンドの募集の取扱い等を行います。)
※投資信託説明書(交付目論見書)の提供は、販売会社にて行います。
- 委託会社 : ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第359号
加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(信託財産の運用指図等を行います。)
- 受託会社 : 三井住友信託銀行株式会社
(再信託受託会社 : 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
(信託財産の保管・管理等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することができます。)

投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなさいますようお願い申し上げます。
当資料は、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社が作成した資料です。当資料記載の情報は、作成時点のものであり、市場の状況やその他の状況によって予告なく変更することがあります。データ等参考情報は信頼できる情報をもとに作成しておりますが、正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料記載の内容は将来の運用成果等を保証もしくは示唆するものではありません。投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されるものではありません。投資信託の運用による損益は、投資信託をご購入のお客様に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。運用状況により、分配金が支払われないこともあります。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。当資料記載の個別の銘柄・企業名については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄または企業の株式等の売買を推奨するものではありません。ご購入に際しては、販売会社より最新の投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。